



遊水地展望台
遊水地の概要について

JICA研修員 一関遊水地を視察

平成29年8月9日(水)に、国際協力機構(JICA)の気候変動に対する順応的流域管理コースの研修員8名が「あいぽーと」を訪れました。研修員は、洪水対策や生態系保全に関わる組織に業務されている方々で、日本各地を視察しています。

当日は、一関遊水地事業の概要、初期越流堤や大林水門の役割などについて学びました。



初期越流堤の役割について



大林水門の役割について



集中管理センターの役割について



参加者が一つずつ灯籠を磐井川へ浮かべました

灯籠流し



約700個の夢灯りがともされました

一関夢灯り大会

平成29年8月20日(日)、一関市内を流れる磐井川河川敷で、「第70回水難物故者一般物故者追悼法要」及び「流籠会(りゅうとうえ)」、さらに「第21回一関夢灯り大会」が行われました。今年、カスリン・アイオン両台風から70年の節目を迎えます。今回の追悼は、犠牲者573人の追悼・慰霊と、台風の記憶の風化をさせず後世へ伝えていくことを目的に毎年開催されております。磐井川には約400個の灯籠が浮かべられ参加者に見送られました。

◆◆編集後記◆◆8月は雨降りばかりでしたね。今回の降雨は連続33日(仙台)となり、観測史上2番目だったようです。ちなみに観測史上最高は1934年の「35日」。夏よ戻っておいで～♪(み)



胸に刻もう

『カスリン・アイオン台風70年』

～風化させない歴史とつなげる未来～